

住民が「困った」に、皆川治市長 該当する事業や、市の責任なくとも解決

櫛引・中田地区

櫛引・中田地区に、旧山形工業(株)の破産で大量の廃材と山になった残土、壊れた建物が放置されていました。

前市政では、処理する事業が見当たらないとして、対策がとられませんでした。

しかし皆川治市長の対話集会が、令和元年3月に中田地区で開催され、住民の「困った」という要望を受けました。

市長は現地を確認し、10月頃から雑木の伐採や建物の解体、残土の

撤去と整地が行われ、住民は「見晴らしが良くなった」と喜んでいきます。

空き地は青葉建設(株)が取得し、活用されています。

藤島・柳久瀬地内

藤島・柳久瀬地内の廃棄物埋立跡地が、長年の風雨に洗われ、乾電池、注射針、ビニール類などが露出し、住民が困っていました。

合併前の旧鶴岡市外6カ町村衛生処理組合の最終処分場跡地です。埋立は1975年6



櫛引・中田地区の廃材や壊れた建物



撤去、解体、整地された



大量の残土の山



前方の残土が撤去され整地された



藤島・柳久瀬の廃棄物埋立跡地



撤去しコンクリート被覆

月から83年3月末まで使われました。その後、跡地処理から因幡堰土地改良区に払い下げられ、市には管理責任がないとされてきました。平成30年に皆川市長の対話集会で、住民から問題が出され、市長は早速10月に現地確認し、廃棄物撤去とコンクリート被覆工事が行われました。該当する事業や市の責任がなくても、住民の「困った」を即解決する市長は、全国にも余りいません。

藤沢周平を読む⑦

鈴木重雄(八色木)

藤沢周平誕生の地記念碑 (鶴岡市高坂)。



■生誕地を訪ねる

初秋の一日、私は友だち(早坂、神事)と3人で、鶴岡市高坂から湯田川中学校跡地と湯田川温泉を訪ねた。

コンクリートで護岸された青龍寺川は満々の水をたくわえ、勢いよく流れている。川の流れに沿って民家が軒を並べた山懐の集落である。

橋を渡って村に入ると少し奥に「藤沢周平誕生の地」の石碑がある。

庭は整地され、山一つ越えれば湯田川温泉に通じる。以前伺ったときの隣の民家は、空き家になっていた。

村の正面には、田んぼや遠い村々を隔てて月山がそびえ、北の空には鳥海山が見える。

周平の子どもの頃は、そばを流れる川音は寝ている枕元まで響いた。

蛩が飛び、蛙の合唱が草を弄した。

流れの弛む所には泥鰌や鰯がいて、草むらに蜥蜴も棲んでいるという。

今は、川は護岸されて昔の面影はない。

私たちは、庭の石碑に手を合わせて往時を偲んだ。

そして周平が通ったであろう山道を湯田川中学校跡地に向かった。

湯田川温泉を陽とすれば、高坂は陰であろうか。

湯田川中学校は解体され、近代的なコミセ

ンが建っている。

私たちは、周平が詠んだ歌碑でもと期待していたのだが…。

そういえば、周平は石碑や歌碑などを建てると後々の維持管理が大変だと、教え子達の希望にも応じなかつたと言つた。

ただ講演会などで色紙はよく書いた。書くときは必ず「軒を出て大寒月に照らされる」と書いた。

周平の人生そのものだと思つた。

平成6年(1994)、名誉市民章を贈りたいという市長からの打診に、辞退を伝える手紙がある。

「私はかねがね作家にとつて一番大事なものは自由だと思つており、…これをいただいでしまうと気持だけのことにして、無位無官ということでは済まなくなり、その分だけ申し上げるような自由が幾分か制限される気がしてなりませんので」

周平の考えに配慮して、一方的に与えなかつた市長に敬意を述べながらも、周平はきつぱりと断っている。

周平は無位無官、口癖は「普通が一番」であつた。

前市政で後回しされた要望 皆川市長が早速実現

武道場の床改修

藤島地区地域活動センター併設の武道場は、旧藤島小の体育館（昭和41年11月築）で50年以上経過しています。

前市政の時は、修繕の要望をしても後回しされてきました。

令和元年に皆川市長が現地確認し、床改修が実施されました。武道場の床改修完成と、藤島剣友会総段位300段達成を、令和元年12月7日に祝いました（写真）。



随神門前トイレ

羽黒山随神門前ポケットパークトイレが今年4月供用開始されました。（写真・市HP）



降りる暗いトイレで老朽化し、改善が要望されてきました。

市有地と無償賃貸の民有地を含めた土地に、市が事業主体となり整備しました。

善賢寺公衆トイレ

善賢寺公衆トイレの改修は、令和元年9月議会で共産党市議団だけが賛成し、自公党派が反対したため補正予算から削除されました。

皆川市長は令和2年1月に、改めて観光地公衆トイレ整備補助制度を新設し、事業着手し、今年4月完成しました。



観光客や市民が使うトイレに、自公党派は「緊急性がない」「宗教法人に補助を出すのは憲法違反」などと主張していました。

西郷の善賢寺は、前自民県議の地元です。

日よけ施設完成

朝日地域の本郷地区の山林広場では、グラウンドゴルフが盛んで、雨宿りや日よけできる四阿が、何年も前から要望されていました。皆川市長のまちづくり未来事業で、今年度予算化され完成です（写真）。

ひと

須藤克三③

山形県児童文化研究会

青山 崇

さて最期に、須藤先生本来の仕事―児童文学活動について記しておこう。

文化教育活動では、早くに第2回斎藤茂吉文化賞（原制定文化賞；第1回無着成恭。今田洋一君父上1970年度受賞・郷土史）受賞。1968年（昭和43年）『出かせぎ村のソロ』出版、地域の社会問題を土台の童話は、児童文学で稀有な存在と評価され、前後して「出稼ぎ」シリーズ発行。

どもたちが、弾道下の村の悲惨な生活の中で成長する姿を、ユーモアを交えながら描き出した5人の共同作品―『山が泣いてる』で1961年第1回日本児童文学者協会賞を受賞。ワッパ騒動をテーマにした1973年著『オイノコは夜明けにほえる』―青少年読書感想文全国コンクール課題図書などがある。

須藤の顕彰のため、生地に「ふるさとの山は光る子供らは太陽を呼ぶ」の石碑が立ち、



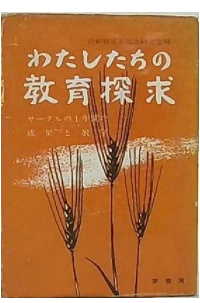
自公政治を終わりに

自民党の総裁選が始まってから、4つの顔による自民党のテレビコマーシャルになっていく。それで支持率がチヨットだけ上向いたとか。党としての政策・方針も、コロナ爆発の一寸の反省もなく、みな勝手な事を言っている。これで支持率が動くという事は、テレビ屋の付度が効いたという事ですかね。

▲しかも、民主主義を壊し自殺者も出している事件の本人が、顔を出し影響力を見せていながらなんだぜ。モリカケと桜を観る会の真相を求める国民が絶対多数で、これでも支持率が動くとは不。

▲ところで、こんな時に消費税を上げるナンテ言えないから、消費税で年金を賄うナンテ話が出ていようだが、消費税を俺は上げるヨ

県は「須藤克三記念児童文化賞」を制定、また生地の南陽市は、市内小中生対象「須藤克三賞」を制定している。1982年、76歳で逝去。「故須藤克三先生を送る芸術文化葬」が行われた。



※写真図書「私たちの教育探究」サークル10年間の成果と展望・自文研編・表書房

と言っているんだ。消費税は福祉のためだと言いなから、実際福祉に向けたのはホンの僅かで、一番は法人税を下げた分の穴埋めだったんだが、またまた国民を騙すんだぜ。

▲若い人の将来の為に、今、月7〜8万円の人まで年金が削られていくでしょう。これもウソをついているんだ。▲一時・百年安心年金と言ったでしょう。あれが本当なんです。年金の貯えは180数兆円あるんだから。この管理に新しい機構を作ったんだが、株でバクチこいてるんだ。何回か数兆円損をしたとか儲かったとか。コロナ禍で国中が不景気でも、株をやっている人だけが儲けているのはその為なんだ。▲顔が変わっても同じだ。11月の総選挙で、自公政治を終わりにしなけりや。（石川）